

平成28年(2016年)熊本地震 歯科支援 中間報告会

◆日時: 2016年7月31日(日) 10:00~12:00

◆会場: 東京医科歯科大学 歯科棟南4階 特別講堂

挨拶 佐藤 保 (日本歯科医師会 副会長)

報告 中久木 康一 (東京医科歯科大学, 日本歯科医師会
災害歯科コーディネーターとして派遣)

楠田 美佳 (熊本県歯科衛生士会,
派遣受け入れ調整/現場活動調整)

門井 謙典 (兵庫医科大学, 兵庫JMATとして派遣)

主催 日本災害時公衆衛生歯科研究会

後援 (公社)日本歯科医師会, (公社)日本歯科衛生士会
(一社)熊本県歯科医師会, (公社)熊本県歯科衛生士会

災害時の歯科支援における 熊本地震対応の特徴と成果、 そして課題

平成28年熊本地震 歯科支援 中間報告会
2016年7月31日(日)10時~12時
東京医科歯科大学 歯科棟南4階 特別講堂

中久木康一
東京医科歯科大学顎顔面外科
日本歯科医師会災害歯科コーディネーター

熊本地震における歯科対応

地域歯科医療
停止→補填→回復

熊本で震度6強の「本震」M7.3 生き埋め・下敷き37件

日本経済新聞 2016/4/16 5:22 (2016/4/16 9:43更新)

16日午前1時25分ごろ、熊本県を震源とする地震があり、熊本市などで震度6強の揺れを観測した。地震の震源の深さは約12キロ、規模はマグニチュード(M)7.3と推定される。M7.3は1995年1月17日に起きた阪神大震災と同じ規模。熊本県など九州各地で多くの家屋やビルが倒壊し、下敷きなどによって多数のけが人が出ている。



強い地震により一階部分が押しつぶされた歯科医院の建物(16日午前4時、熊本市中央区安政町)＝共同

避難所でも口腔ケアを 誤嚥性肺炎の原因に

熊本日日新聞2016年04月23日



老人ホーム入所者の口腔ケアに取り組む歯科医師の神崎昌二さん＝御船町

口の中を清潔に保つには

- 歯ブラシがない場合は、ぬれたティッシュやガーゼを指に巻いて歯を磨く。15秒程度のうがいも効果的
- 歯磨きはコップ3分の1の水でも十分。歯磨き粉をつけずにブラッシングし、よくうがいをする。毎食後の歯磨きが理想だが、できない場合は少なくとも1日1回、就寝前に行う
- 入れ歯の手入れも必要。歯ブラシで丁寧に磨く。磨いた後は義歯洗浄剤につける
- 口内の乾燥に注意。唾液をたくさん出すために、食べ物によくかんで食べる
- 子どもは甘い菓子の食べ過ぎに注意する

長引く避難生活で、おそろかになりがちなのが口腔[こうくう]内のケア。県内では、歯科医師らがボランティアで福祉施設などを巡回し、口の中の汚れが原因で発症する誤嚥[ごえん]性肺炎に注意するよう呼び掛けている。

NHK ONLINE トップへ

NHK NEWS WEB

2016年(平成28年)4月

キーワードを入力 検索 文字サイズ

ニュース 動画 特集 スペシャルコンテンツ NEWS WEB EASY

新聞 社会 科学 政治 ビジネス 国際 スポーツ 暮らし・文化 地域

熊本地震 熊本地震・被害 エコノミクス産経財 熊本地震・遊覧 熊本地震・支援 熊本地震・ライフライン

熊本地震・交通情報

熊本 西原村 歯科医師が避難所を巡回診察

4月24日 14時17分

一連の地震を受けて熊本県西原村では、歯科医師が避難所を巡回して避難生活を続けている人たちの歯の診察をしています。

熊本県歯科医師会は、23日から益城町や西原村など県内各地の避難所を巡回して、避難生活を続けている人たちの歯の診察をしています。このうち、470人余りが避難している西原村の西原中学校では、体育館の一角にスペースが設けられ、歯科医師

全国の天然地震・津波情報

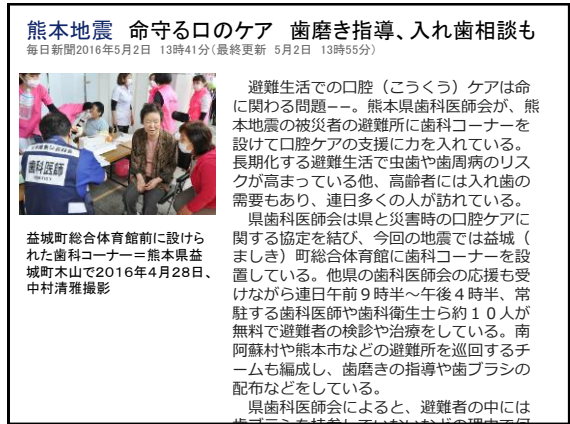
災害 避難・災害 告知

災害 最新の地震情報

災害 防ごう！エコ危機情報

特設 ライフログ

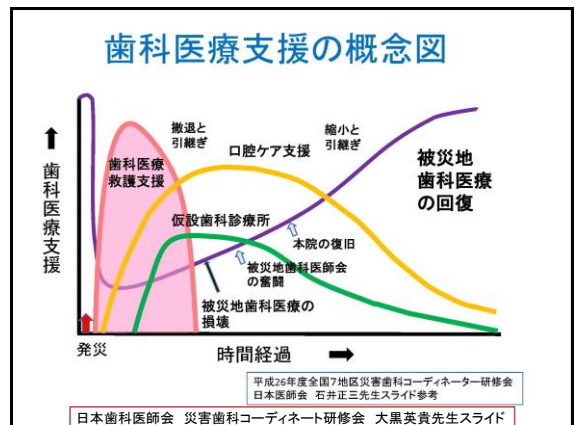
ソーシャルリンク





歯科救護の対象

対象	内容	連携
<p>犠牲者</p> <p>犠牲になられた方</p>	個人識別への協力	警察 海上保安庁 監察医 etc.
<p>健康問題を抱える人</p> <p>痛みのある人 通院中だった人 義歯破損・不適合の人</p>	医療活動	災害拠点病院 DMAT / JIMAT 日赤 etc.
<p>健康問題のない人</p> <p>特に重要なのは要配慮者 高齢者(摂食・嚥下障害) 有病者(糖尿病) 乳幼児・小児</p>	保健活動	自治体 保健所 保健センター etc.



歯科支援チーム 活動方針

- 地域歯科医療体制の維持・回復
- 避難所等における被災者の歯科保健管理
- 福祉避難所・施設等における要援護者の口腔衛生管理
- 口腔感染症と誤嚥性肺炎の予防
- 「口から食べる」を守る支援
- 「口腔内細菌から体を守る」支援
 - 口腔のケア・・・口腔内細菌の減量
 - 口腔のケア・・・口腔機能(運動・うろおい)の保持

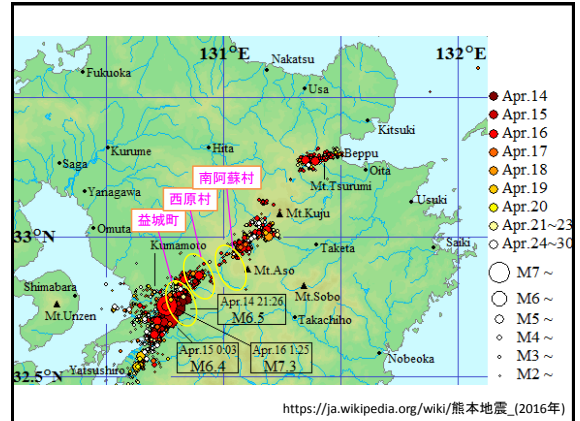
歯科支援チーム 活動内容

- 歯科ニーズ調査
- 避難所、避難者歯科アセスメント
- 口腔ケア用品提供
- 歯科に関する相談・聞き取り
- 口腔ケア・指導
- 唾液腺マッサージ
- 義歯洗浄
- 歯科治療(むし歯の応急処置、歯肉の急性炎症消毒、口内炎、義歯調整義歯新製、拔牙など)
- 歯と口の健康教育
- 摂食嚥下評価・嚥下リハ・摂食指導
- 環境アセスメント・整備
- 地域歯科医療機関への紹介

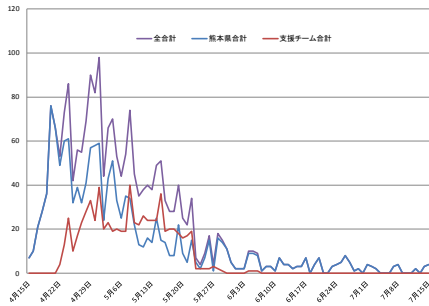
提供: 熊本県歯科医師会 常務理事 牛島 隆 先生

歯科支援 外部派遣チーム一覧

	4月23日 ～5月1日	5月1日 ～8日	5月8日 ～15日	5月15日 ～22日
南阿蘇村	福岡県歯 福岡県の3大学	大分県歯	宮崎県歯	福岡県歯
益城町	佐賀県歯	長崎県歯	鹿児島県歯	沖縄県歯
	兵庫JMATの歯科(兵庫県病院歯科医会)			
西原村	山口県歯科医師会			
その他	那覇県JMAT	鹿児島県大学(全国知事会)		福島J MAT

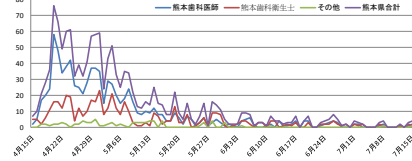


歯科支援チーム 活動人数

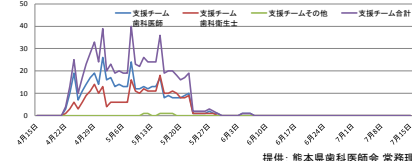


提供: 熊本県歯科医師会 常務理事 牛島 隆 先生

熊本県内 活動人数

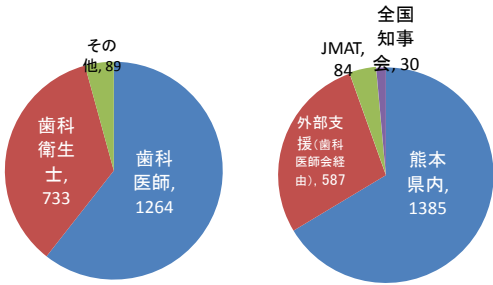


外部派遣 活動人数



提供: 熊本県歯科医師会 常務理事 牛島 隆 先生

平成28年熊本地震 歯科支援活動 (7月15日現在) 活動人数



提供: 熊本県歯科医師会 常務理事 牛島 隆 先生

今回の歯科支援活動の特徴

今回の歯科支援活動の特徴

- 本震後1週間にて外部よりの派遣
 - ブロック幹事県歯科医師会による派遣調整
 - コーディネーターの派遣(断続的)
 - 避難所等における統一アセスメント用紙による評価
 - JMAT(日本医師会災害医療チーム)帯同の歯科としての派遣
 - 現場でのJRATや栄養士との連携
 - 歯科診療所稼働状況のHP掲載
 - 事務局支援としての事務局派遣(短期)
 - 先行した地元歯科ボランティアとの連携
- ※ 他に、全国知事会のチーム帯同の歯科、保険医協会歯科・民医連歯科などの支援あり

今回の歯科支援活動の特徴

- 本震後1週間にて外部よりの派遣
 - ブロック幹事県歯科医師会による派遣調整
 - コーディネーターの派遣(断続的)
 - 避難所等における統一アセスメント用紙による評価
 - JMAT(日本医師会災害医療チーム)帯同の歯科としての派遣
 - **現場でのJRATや栄養士との連携**
 - 歯科診療所稼働状況のHP掲載
 - 事務局支援としての事務局派遣(短期)
 - 先行した地元歯科ボランティアとの連携
- ※ 他に、全国知事会のチーム帯同の歯科、保険医協会歯科・民医連歯科などの支援あり



沖縄タイムス
 熊本地震：ひび割れた道を走り訪問診療 那覇出身の歯科医
 2016年4月30日 11:05 [熊本地震](#) [注目](#) [社会・くらし](#)



「大丈夫でしたか」「また来週来ますね」。熊本県阿蘇市などで訪問歯科診療する「阿蘇きずな歯科医院」の我那覇生純院長(50)＝熊本県合志市、那覇市出身＝は連日、甚大な被害があった南阿蘇村や阿蘇市の高齢者福祉施設や障がい者福祉施設などを訪ね、支援物資を届けて歯の検診に取り組んでいる。28日に同行取材した。

阿蘇山の麓集落をつなぐ基幹道路は1周約65キロ。治療器材や口腔(こうくう)ケアの物資を積んだ車を運転、地震でひび割れた道を走り、土砂崩れて通れなくなった道や崩落した阿蘇大橋を迂回(うがひ)する。午前中には高齢者福祉施設5カ所を巡回。「足りない物はないですか」と声を掛け、洗口液など手渡した。歯を痛めた患者の治療では、その場で抜歯を決め、歯を2本抜いた。

熊本地震発生から2週間。「気が張っているからか、疲れはない。まだまだ大丈夫」と話す。

阿蘇きずな歯科医院は開院して10年。現在は近隣5市町村の病院や福祉施設、患者宅を巡り、通院が難しい患者たち約300人の歯の健康を守る。

本震の翌日の17日から患者の元を駆け回った。全員が無事だったが、断水が続く施設もあり、厳しい状況が続く。

被災地駆ける歯科医
 阿蘇市で活動 我那覇さん



「大丈夫でしたか」「また来週来ますね」。熊本県阿蘇市などで訪問歯科診療する「阿蘇きずな歯科医院」の我那覇生純院長(50)＝熊本県合志市、那覇市出身＝は連日、甚大な被害があった南阿蘇村や阿蘇市の高齢者福祉施設や障がい者福祉施設などを訪ね、支援物資を届けて歯の検診に取り組んでいる。28日に同行取材した。

阿蘇山の麓集落をつなぐ基幹道路は1周約65キロ。治療器材や口腔(こうくう)ケアの物資を積んだ車を運転、地震でひび割れた道を走り、土砂崩れて通れなくなった道や崩落した阿蘇大橋を迂回(うがひ)する。午前中には高齢者福祉施設5カ所を巡回。「足りない物はないですか」と声を掛け、洗口液など手渡した。歯を痛めた患者の治療では、その場で抜歯を決め、歯を2本抜いた。

熊本地震発生から2週間。「気が張っているからか、疲れはない。まだまだ大丈夫」と話す。

阿蘇きずな歯科医院は開院して10年。現在は近隣5市町村の病院や福祉施設、患者宅を巡り、通院が難しい患者たち約300人の歯の健康を守る。

本震の翌日の17日から患者の元を駆け回った。全員が無事だったが、断水が続く施設もあり、厳しい状況が続く。

JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)との協働
 高齢者施設での摂食・嚥下アセスメントにおける言語聴覚士(赤緑)と歯科医師(白)との協働



ザ・クインテッセンス 2016年7月号

介護老人保健施設に勤務する地元歯科衛生士と、歯科支援チームの福岡歯科大学の歯科医師・歯科衛生士、そして、JRATの医師・言語聴覚士



ザ・クインテッセンス 2016年7月号

OHATとOAGを引用した要援護者口腔アセスメント票の試案

ORAL ASSESSMENT TOOL (OHAT-OAG)		評価項目	評価結果
1	咀嚼(咀嚼、嚙み、噛む)	咀嚼(咀嚼、嚙み、噛む)	咀嚼(咀嚼、嚙み、噛む)
2	嚥下(嚥下、飲みこむ)	嚥下(嚥下、飲みこむ)	嚥下(嚥下、飲みこむ)
3	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)
4	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)
5	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)
6	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)
7	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)
8	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)
9	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)
10	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)
11	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)
12	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)
13	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)
14	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)
15	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)
16	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)
17	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)
18	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)	口腔ケア(口腔ケア、口腔衛生)
19	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)	口腔機能(口腔機能、口腔健康)
20	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)	口腔状態(口腔状態、口腔状況)

ザ・クインテッセンス 2016年7月号

災害時の「食べる」を支える



シンポジウム

大規模災害時の避難所などにおける食料支援のあり方について
 ～情報の共有化と評価～

参加費無料!

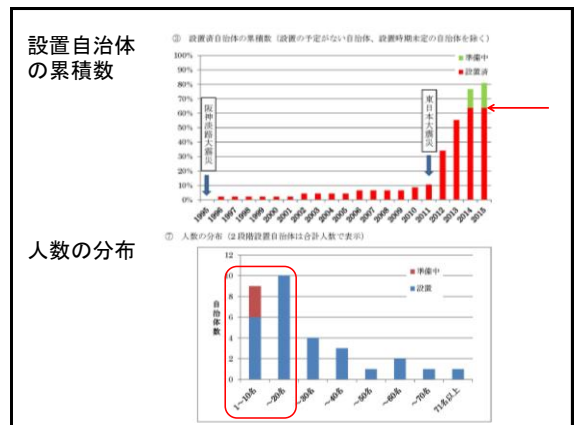
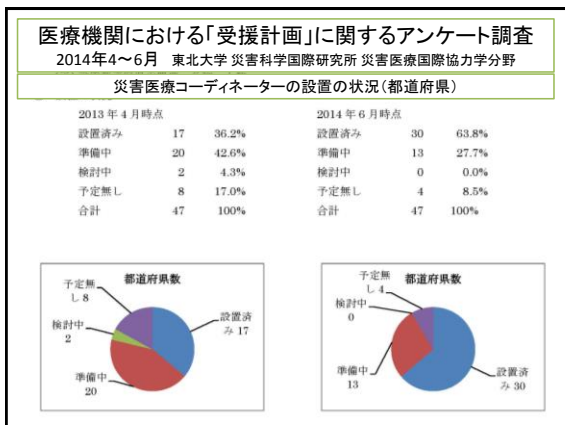
3月12日(土) 15:00～(14:30開場)
 東京医科歯科大学1号館9階 特別講堂

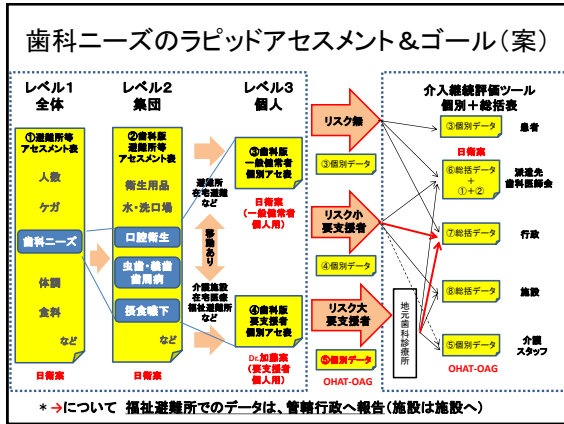




課題

- ### 課題
- 県の災害対策本部との情報共有・連携
(ニーズ調査を含む)
 - 要援護者のアセスメント票
 - アセスメントからの継続介入と引き継ぎ
 - オフサイトでの調整
 - JMAT以外の医療班やNPOに帯同する歯科との情報共有





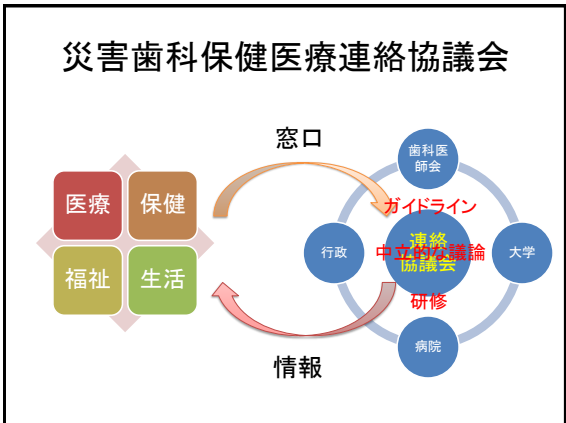
- ### 課題
- 県の災害対策本部との情報共有・連携 (ニーズ調査を含む)
 - 要援護者のアセスメント票
 - アセスメントからの継続介入と引き継ぎ
 - オフサイトでの調整
 - JMAT以外の医療班やNPOに帯同する歯科との情報共有

災害歯科保健医療連絡協議会

第23回理事会

1636号
2015年(平成27年)
1月15日

左から社会福祉担当の佐藤正徳理事、菊野部務理事、山口武之理事



災害歯科保健医療連絡協議会の設置について

【設置目的】
大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、JMATと帯同する病院歯科医師から、中長期的仮設住宅・高齢者施設等への口腔ケアや歯科相談等の提供に至るまで、様々な歯科関係職種との継続的な支援が必要である。
そのため、日本歯科医師会主導の下、歯科関係団体同士の連携や災害対応に関する認識の共通化を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の情報集約や共有を促し、有事に際して国や都道府県との連携調整を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うべく、歯科関連団体の協議会を設置する。

【参加団体・人数】
・日本歯科医師会 ・都道府県歯科医師会：全国7地区代表者 ・日本歯科医学会 ・日本私立歯科大学協会 ・国立大学歯学部長・歯学部附属病院院長会議 ・全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議 ・日本病院歯科口腔外科協議会 ・日本歯科衛生士会 ・日本歯科技工士会 ・全国行政歯科技術職連絡会 ・日本歯科商工協会
※オブザーバー：厚生労働省、日本医師会(JMAT関係者)、自衛隊歯科、必要に応じてその他追加

- ### 【主な協議内容】
- 1) 災害時における行政・他業種等の対外的な窓口
 - 2) 災害時の各団体との連携、派遣調整 (自衛隊歯科との連携)
 - 3) 情報センター機能として資料整理
 - 4) 避難所等標準口腔アセスメント票 統一版の作成・周知
 - 5) 人材育成、情報共有のための仕組みの構築
 - 6) 各団体登録者リストの作成
 - 7) 協議会設置のPR・広告
 - 8) 歯科関係団体災害時対応マニュアルの改訂
 - 9) 医療関係職種・団体との連携

歯科保健活動を通じて

歯と口の健康を、
生活の質を、
食の楽しみを、
そして
健康寿命の延伸を

災害時公衆衛生歯科研究会 <http://jsdphd.umin.jp/>

日本災害時公衆衛生歯科研究会
Japanese Society for Disaster Public Health Dentistry (JSDPHD)

ホーム 団体概要 研修会概要 資料ダウンロード 報告書・関連書籍 ML登録

事務局 お知らせ

- お祝い合わせ 2015-07-08 第64回口腔衛生学会シンポジウム「東日本大震災後の関係機関における災害時歯科保健医療の取組～大規模災害に備えて～」資料を公開しました。
- 新刊書籍紹介** 2015-06-15 本研究会編集の書籍「災害時の歯科保健医療対策」が発売されました。
- 災害時の歯科保健医療対策【2015年6月15日発売】 2015-05-15 ホームページを公開しました。
- 2015-04-15 日本災害時公衆衛生歯科研究会が発足しました。

リンク

2015年6月15日発刊
2000円!

2016年7月10日発刊
1800円

歯科医院の
防災対策ガイド

歯科における
災害対策

災害時の
歯科保健医療対策
連携と標準化に向けて

繋

ご来場ありがとうございました
nakakuki@biglobe.jp

※名刺交換会に参加
される方は、右前方
から出て演習室に移
動してください

